

主任児童委員

磯子区主任児童委員は現在15人で活動しています。主任児童委員は民生委員・児童委員から指名された委員で、乳幼児・児童など子育て家庭に関することを専門に担当しています。

民生委員と協力、連携しながら子育てサロンの運営、また児童虐待防止などの活動に取り組んでいます。また学校や関係施設と情報を共有する地域のつなぎ役でもあります。

主任児童委員を利用して頂けるよう、積極的に動いていきたいと思っております。



◆会議の様子

研修委員会

研修委員会では、毎回2～3地区の事例報告を元に意見交換する作業を主としています。

また、報告のあった事例を個人特定がなされない様に注意の上、各地区に持ち帰っていただき民生委員児童委員の活動の参考になればと思っております。また研修委員会主催の研修会には講師の方をお呼びして、興味深いお話を伺うことができます。人数制限はありますが、とても勉強になりますので、是非ご参加いただけたらと思います。

今後さらに高齢化が進み、関わりが深くなっていくと思っておりますので、多種多様な事例の共有が少しでも力になればと思っております。



◆会議の様子

ICT委員会

ICT委員会の活動の一つとして、市内で唯一開設している「磯子区民児協」専用のホームページで、各地区の活動紹介等の情報を発信しています。

民生委員なら誰でも投稿ができ、みんなのホームページになったら良いなと思い、昨年10月に「みんなでHPへ投稿しよう」という、ホームページへの投稿の仕方についての研修会を民生委員対象に開催しました。

たくさんの方々にホームページを閲覧して頂く事により、「次の機会には、この行事に参加してみようかな」とみなさまに思ってもらえたらと思います、記事を作って投稿しています。

「磯子区民児協」で検索、または下記のQRコードからご覧頂けますので、よろしくお願いいたします。



磯子区民児協



◆会議の様子

広報委員会

10名の委員と共に年2回の「民児協いそご」の発行が最も大きな活動です。

そのために年6回の委員会を開催し、広報誌の内容を検討するのですが、他の地区の皆さんとの貴重な交流の場でもあるように思います。

広報誌を通じて各地区の皆さんの活動をより多く伝え、より理解していただき、ついでには、地域の身近な相談相手として、また、専門機関につなぐパイプ役としての民生委員を知っていただきたいとの思いで取り組んできました。

これからも、民生委員の皆さんを始め多くの方々のご協力に感謝し、任期を努めあげ、次の方につなげていきたいと思っております。



◆会議の様子



スイッチON 磯子

民児協いそご

発行：
磯子区民生委員
児童委員協議会

第51号
令和7年3月17日

一斉改選に向けて

磯子区民生委員児童委員協議会
会長 屋代 昭治

令和4年12月の民生委員・児童委員、主任児童委員の一斉改選から2年が過ぎ、委員の任期も残り8か月となりました。この間、磯子区の委員の皆様には、本当に熱心に委員活動に取り組んでいただき、磯子区の地域福祉保健活動について、区民の皆様のご信頼が大変厚くなったものと確信しています。

全国民生委員児童委員連合会の調査では、委員になって良かったと答えた方の割合が1期目では、52.8%ですが、4期目では70.5%となっていて、委員を長くやればやるほど、委員をやった良かったと感じる方が増え、やりがいや達成感を感じる方も増えています。

市・区民児協では、現在委員の負担軽減や地区民児協内での委員同士の絆を深める方策などを検討しており、委員の皆様が安心して引き続き委員を継続できるように取り組んでいるところであります。

12月委嘱式

令和6年12月1日付で新たに委嘱された4名の民生委員児童委員の委嘱状伝達式を12月2日に行いました。当日は3名の方にご出席いただき、高橋磯子区長から各々に委嘱状が手渡されました。

今回新たに民生委員児童委員としての第一歩を踏み出していただいた汐見台地区・屏風ヶ浦第二地区の民生委員の皆さん、よろしくお願いいたします。



◆委嘱の様子

全体研修報告

令和7年1月24日、講師に田園調布学園大学 人間福祉学部 学部長 村井 祐一教授をお招きして、磯子区民生委員児童委員協議会全体研修会が開催され、参加いたしました。

民生委員の役割は、地域で適度な期待をもたれ、情報が入りやすいように。課題がみつければ状態を把握し、適切な関係機関につなげて、連携をとり課題の改善、解決を図ります。

ネットワークやコーディネートに参加し、その一助となります。自分の持つ「しあわせ」で理解せず、相手の幸せに「足りない部分」「かけている部分」を補完するように包括的に関係機関と共に支援します。

日々の見守りやふれあいにより、同じ地域の住民、仲間という意識が芽生え、それを育むために「焦らず(おいおい知ればいい)」「慌てず(知りすぎず)」「支援か援助か押し付けず」そして、個人情報「借り物」「預かり物」と大切に適切に活用します。と学びました。

私たち民生委員は感度の高いセンサーを目指していきましょう。



◆講座の様子

編集後記

地域の方々に民生委員の活動を知ってもらおう広報誌づくりを考えています。 【岡村地区 田辺 美代子】

前号「喜怒哀楽」(全委員より)に続き、今回は民生委員一期目の方に伺いました。民生委員を受けるにあたり、期待や恐れ(不安)や畏れ(?)で悩んだ方もいたのかも…。全知全能なんてムリ。悩んだ時は仲間に頼りましょう。 【磯子地区 柳澤 浩子】

広報委員会名簿

- 根岸地区 長田 みどり
- 滝頭地区 堀部 孝治
- 岡村地区 田辺 美代子
- 磯子地区 柳澤 浩子
- 汐見台地区 高木 美枝子
- 顧問：屋代 昭治 溝口 早苗
- 屏風ヶ浦第一地区 村上 千鳥
- 屏風ヶ浦第二地区 大山 亮一
- 杉田地区 中島 裕見子
- 上笹下地区 北見 一彦
- 洋光台地区 小川 恵美
- 内藤 満

もくじ

一斉改選に向けて／12月委嘱式／全体研修報告	1
民生委員児童委員に着任して感じたこと	2・3
主任児童委員／研修委員会／ICT委員会／広報委員会／編集後記	4

滝頭地区

25歳から70歳の今もまだお客様を訪問する仕事を続けながら、民生委員の役割を担い1期3年目になりました。民生委員はなり手がなかなかいないと言われながら、今は鬼籍に入られた方からのお勧めで何の知識もなくお引受をさせていただきました。滝頭地区民児協の皆さんは心優しい方々です。このうれしい環境の中、自分ではなく年齢を重ねて来られた方々を真ん中に据えた目線で訪問、気持ちが安らぎ、心が和むことに僅かでもお役に立てますようにと日々思っています。

【堀部 孝治】

岡村地区

私が担当させて頂いている方々は、比較のお元気で。自由に外出できて、近くに家族も居る。通院はあっても大きな体調不良や困り事も無い。訪問しても挨拶のみ、ということも度々あったので引き継いだ当初は自分の役割とは?とふと考える事がありました。昨年頃から「庭木を切りたい」「詐欺の訪問があった」等の相談があったり、「誰かに見て欲しかった」とご自分で植えた庭の草花やお節句の人形を見せて下さったりすることがあり、少しずつでも関係性を築く事ができたのかなと嬉しく感じています。民生委員は直接困り事を解決するお助けマンではありませんが“自分を担当してくれてる誰かが居る”という安心感を、今後の活動の中でお伝えできれば良いと思っています。

【川田 智子】

磯子地区

60代最後の年になります。民児委員2年目の新人です。1230邸の大型レジデンスを担当しています。初回訪問時、玄関前で不審者と思われ落ち込んだこともありましたが、自治会よりポスター掲示、今では感謝の言葉を頂く事が多いです。45年、医療職の仕事をしての経験、知識を活動を通して地域住民へ貢献したいと思っています。宜しくお願いします。

【井上 優子】

根岸地区

「今朝は富士山が綺麗に見えましたね」周囲の方々に支えられ委嘱を受けて一年半経ちましたが私には明るく挨拶する事と話を聞く事くらいしかできていません。それなのに感謝の言葉をかけられると有難いやら申し訳ないやら自分自身が歯痒いのが現状です。民生委員として活動する場を与えていただいた事に感謝し、これを自身の成長のチャンスと捉え少しでも地域のお役に立てる自分になっていきたいと思っています。

【赤須 恵子】

屏風ヶ浦第一地区

私の住まいは超高齢マンションであり、いろんな問題が次から次へと起こっていて、その都度住人たちにも協力して頂き解決している状況です。研修等も多く活動の円滑化の為に超高齢化マンションの所は二人体制にして頂くと少しは楽になるのではないかと思います。今後、独居となる人がどんどん増えていきます。責任と負荷が増大する一方なのに位置付けが曖昧な制度は根本の見直しが必要な時ではないでしょうか。ある人が言っていた言葉です。「人との縁は大事なものの、縁なしに生きられる人などいない」と。

【村上 みつ子】

屏風ヶ浦第二地区

人とコミュニケーションをとる事が苦手な私が出たことのないお年寄り宅を訪問?! しかも毎月?! ムリ~と思いつつ引き受けてしまいました。でも私が見守っている方々はとても元気でディサービスでマシンの動かすのが楽しいとか、お友達と旅行に行ってきたとか、そんな感じなので毎月は煩わしいので、たまに来てくれたらいいと言う方がほとんどです。年に何回かは何うのですが、入院してたの。なんて事もあったりでも、親切にしてくれてありがとうと言ってもらったりすること、私でも地域のお役に立ててるのかな?と思います。そう思えばもう少し続けられそうです。

杉田地区

民生委員になった当初は不安と自信のなさに気持ちが折れそうになりましたが、周りの皆様の思いやりや、何より訪問を待っていてくださる方々の笑顔に励まされている3年目となりました。そんな中、令和6年10月「杉の子会 いきいき健康講座」として杉の子会館にて、屏風ヶ浦・上笹下・新杉田各ヶアプラザの看護師さんを招いてフレイル予防についてわかりやすく講演して頂きました。“ハマトレ”みんなのインゴ体操、ゲーム、歌唱を交えて総勢20名の楽しいひと時でした。また、11月同日の子供会と芋煮会、年明け1月にはお餅つき会と大盛況でした。お子さんからお年寄りまで、地域の交流が叶い今後も継続していくことを望みます。

【中山 精子】

上笹下地区

一期目の民生委員として全てが初めてのことばかりですが、地域の皆さんや先輩の委員さんに助けられて活動しています。毎月のふれあい昼食会、一人暮らしの方の訪問のほか、町内会の災害時要援護者の訪問もしております。お困りごとのご相談もありますが、すぐにお答えができないこともあり、経験不足を感じています。また今年はケアプラザ事業の小さいお子さんとお母さんの会に協力しました。どの活動も、人とのつながりを実感できる喜びを感じております。これからも健康第一で務めたいと思います。

【栗本 由佳子】

民生委員・児童委員に 着任して感じたこと

～ 着任歴の浅い民生委員・児童委員へお聞きしました ～



汐見台地区

フルタイム勤務に変わるタイミングで声をかけられ、高齢者対象の仕事をしており難しいと答えると「主任児童委員はどうですか」とのお誘い。子どもたちと関わることができるなら引き受けました。しかし参加するものは研修会や会議だらけで、何の集まりなのかよくわからず参加。有休をどんどん使っていく、楽しくない、辞めたいと半年くらい考えていました。「障害者」など興味のあるテーマの研修や、地域の方と直接交流ができるイベントなどには関わりたい!そう思っています。まだ1期目です。トライアンドエラーで自分ができる活動をしていきたいと思っています。

【信定 利枝】

洋光台地区

民生児童委員の委嘱を受け早くも2年が経ちました。分からない事が起きる度、諸先輩方に丁寧に教えて頂き感謝しています。研修会は勿論、見守り先の方や仲間に参加する事も多く、大勢の方々と繋がる喜びを感じます。又食糧支援等、多岐に渡る民生委員活動にその都度感銘致します。昨年は年頭より震災、詐欺事件、闇バイト事件等起き、地域の力がより必要とされた年でした。安心して共に暮らせる地域作りの一助になれるよう2025年も微力ながら努める所存です。

【萬永 範子】